

2027 年度

東京大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム

1. プログラムの名称

東京大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム

2. 研修理念

東京大学医学部附属病院卒後臨床研修は、医療及び医学の分野において指導者たる医師となるための礎を築くこと、すなわち、優れた指導者と充実した環境の下で医師としての人格を涵養するとともに、基本的な診療能力を習得し、研修医が将来医療及び医学において自らの果たす役割を明確にすることを目的とする。

3. 研修目標

- (1) 医師としての基本的な技能・知識・態度を身につける。
- (2) 患者の課題を的確に把握し、置かれた状況に応じて最適な医療を選択できる
- (3) 患者や他の医療従事者と十分な意思疎通を行える
- (4) 医療安全の意識を身につけ、実践する。
- (5) 将来自らが目指す医師像、医師としての方向性を明確にする。
- (6) 研修を通して将来の医療及び医学を追究できる医師を目指す。

4. 定員

プログラムの総募集定員は94名である。各プログラムの定員は以下の通り。

A プログラム 51名

B プログラム 31名

広域連携型プログラム 8名

将来の希望科を1年目から重点的に研修することが可能な以下の重点プログラムを設置

小児科重点プログラム 2名

産婦人科重点プログラム 2名

5. 研修計画

研修期間は2年間とする。本院のみで行う方式（Aプログラム）、基幹型臨床研修病院と協力型臨床研修病院で研修を行う「たすきがけ型方式」（Bプログラム）、および基幹型臨床研修病院と連携先臨床研修病院で研修を行う方式（広域連携型プログラム）、将来小児科医および産婦人科医を目指す研修医のため、小児科・産婦人科研修に重点を置いたプログラム（小児科重点プログラムおよび産婦人科重点プ

ログラム)がある。各年度の診療科ローテーションの順番は研修医によって異なる。

1) Aプログラム(各年度内での順番は研修医によって異なる)

1年目・2年目とも東大病院で研修する。

1年目：東京大学医学部附属病院

内 科 6ヶ月 (24週)	外科 2ヶ月 (8週)	麻酔科 2ヶ月 (8週)	選択 2ヶ月 (8週)
---------------------	-------------------	--------------------	-------------------

2年目：東京大学医学部附属病院・協力施設

救急科 2ヶ月 (8週)	外来 1ヶ月 (4週)	地域 医療 1ヶ月 (4週)	小児科 1ヶ月 (4週)	産婦 人科 1ヶ月 (4週)	精神科 1ヶ月 (4週)	選択 5ヶ月 (20週)
--------------------	-------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	--------------------

※1年目の「選択」については、2年目の「必修(小児科・産婦人科・精神神経科・救急科)」を研修することができる。1年目の「選択」において「必修(小児科・産婦人科・精神神経科・救急科)」を選択した場合には、2年目の「必修」を研修医の希望する研修科に替えることができる。

1・2年目の選択科については、いずれも将来の診療科も考慮に入れ、研修科を決定する(適宜、東大病院プログラム責任者、総合研修センター医師のアドバイスも受けることができる)。

2) Bプログラム(各年度内での順番は研修医によって異なる)

1年目は協力型臨床研修病院で、2年目は東大病院で研修する。

1年目： 協力型臨床研修病院

内 科 6ヶ月 (24週)	救急科 または麻酔科 2ヶ月 (8週)	外科 2ヶ月 (8週)	選 択 2ヶ月 (8週)
---------------------	------------------------------	-------------------	--------------------

2年目：東京大学医学部附属病院・協力施設

救急科 2ヶ月 (8週)	外来 1ヶ月 (4週)	地域 医療 1ヶ月 (4週)	小児科 1ヶ月 (4週)	産婦 人科 1ヶ月 (4週)	精神科 1ヶ月 (4週)	選択 5ヶ月 (20週)
--------------------	-------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	--------------------

※1年目は救急科あるいは麻酔科から合計2ヶ月研修する。1年目の協力病院での研修中に外来研修を並行して行った場合には、2年目の「外来」研修を研修医の希望する研修科に替えることができる。1年目に協力病院で研修することになるが、1・2年目の選択科についてはいずれも将来の診療科も考慮に入れ、研修科を決定する（適宜、東大病院プログラム責任者、副プログラム責任者、総合研修センター医師のアドバイスも受けることができる）。

3) 広域連携型プログラム（各年度内での順番は研修医によって異なる）

1年目と2年目後半は東大病院で、2年目前半は連携先臨床研修病院で研修する。

1年目： 東京大学医学部附属病院

内 科 4ヶ月 (16週)	救急科 2ヶ月 (8週)	外科 2ヶ月 (8週)	小児科 1ヶ月 (4週)	産婦 人科 1ヶ月 (4週)	選択 2ヶ月 (8週)
---------------------	--------------------	-------------------	--------------------	-------------------------	-------------------

2年目： 連携先臨床研修病院・東京大学医学部附属病院・協力施設

内科 2ヶ月 (8週)	救急科 または 麻酔科 2ヶ月 (8週)	選択 2ヶ月 (8週)	地域 医療 1ヶ月 (4週)	外来 1ヶ月 (4週)	精神科 1ヶ月 (4週)	選択 3ヶ月 (12週)
連携先臨床研修病院			東京大学医学部附属病院・協力施設			

※1年目の「選択」については、2年目の「必修（精神神経科）」を研修することができる。1年目の「選択」において「必修（精神神経科）」を選択した場合には、2年目の「必修」を研修医の希望する研修科に替えることができる。

1・2年目の選択科については、いずれも将来の診療科も考慮に入れ、研修科を決定する（適宜、東大病院プログラム責任者、総合研修センター医師のアドバイスも受けることができる）。

4) 小児科重点プログラム

将来小児科医を目指す研修医のため、小児科研修に重点を置いたプログラムである。小児科医として最も大切な子どもに対するアプローチの仕方や知っておかなければいけない医療的知識、診断治療の考え方、そして救急処置などの必要な手技を2年間で効率良く習得する。小児外科、産科、こころの発達診療部、外部病院小児科での研修が可能であり、胎児・新生児から思春期までの子どもの身体と心を総合的に診療する能力を身につける。

1 年目：東京大学医学部附属病院

内 科 6 ヶ月 (24 週)	小児外科 2 ヶ月 (8 週)	小児科 (小児病棟) 2 ヶ月 (8 週)	小児科 (PICU) 2 ヶ月 (8 週)
-----------------------	-----------------------	--------------------------------	--------------------------------

2 年目：東京大学医学部附属病院＋外部病院（協力施設）

救急 2 ヶ月 (8 週)	救急 または 麻酔 1 ヶ月 (4 週)	小児外 来 1 ヶ月 (4 週)	小児 科 1 ヶ 月 (4 週)	産婦 人科 1 ヶ月 (4 週)	精神科 1 ヶ月 (4 週)	地域 医療 1 ヶ月 (4 週)	小児科（選択） (病棟/N I C U) 4 月 (16 週)
---------------------	----------------------------------	---------------------------	------------------------------	---------------------------	----------------------	---------------------------	--

※1 年目の「外科」は小児外科に替えて小児心臓外科も選択できる。2 年目の「必修」救急に関しては、救急科あるいは麻酔科からいずれか 1 つを選択し 1 ヶ月研修する。

2 年目の 4 ヶ月間は外部施設小児科研修または当院の診療科（小児科・こころの発達診療部の選択も可）での研修を行う。

5) 産婦人科重点プログラム

将来産婦人科医を目指す研修医のために、女性診療科・産科、女性外科での産婦人科研修に重点を置いたコースである。医師としての総合的な診療能力の獲得に加え、産婦人科医としての基本的な考え方、臨床能力を身につける。産婦人科は周産期、生殖内分泌、腫瘍という 3 分野からなるため、それぞれ 2 ヶ月程度ずつ研修する。さらに周産期研修の一環として、新生児蘇生技術の習得を目標に NICU で 2 ヶ月研修する。救急科では産科救急事態に対応できる全身管理の習得を目指す。また、外部病院産婦人科での研修が可能である。

1 年目：東京大学医学部附属病院

内 科 6 ヶ月 (24 週)	外科 2 ヶ月 (8 週)	産婦 (産科) 2 ヶ月 (8 週)	産婦 (女性外科) 2 ヶ月 (8 週)
-----------------------	---------------------	-----------------------------	-------------------------------

2 年目：東京大学医学部附属病院＋外部病院（協力施設）

救急 2 ヶ月 (8 週)	救急 または 麻酔 1 ヶ月 (4 週)	小児科 (NICU) 2 ヶ月 (8 週)	精神科 1 ヶ月 (4 週)	外来 1 ヶ月 (4 週)	地域 医療 1 ヶ月 (4 週)	選択 2 ヶ月 (8 週)	産婦 (外部) 2 ヶ月 (8 週)
---------------------	----------------------------------	--------------------------------	----------------------	---------------------	---------------------------	---------------------	-----------------------------

※1年目の「外科」は大腸・肛門外科、乳腺・内分泌外科、泌尿器科、小児外科のうち、2診療科を選択し、1ヶ月ずつ研修を行う。2年目の「必修」救急に関しては、救急科あるいは麻酔科からいずれか1つを選択し1ヶ月研修する。

2年目の2ヶ月間は協力病院で研修を行う。

ローテーションの順番については調整の上で決定する。

6. 指導体制

(1) 研修管理委員会

東京大学医学部附属病院長、総合研修センター長と各プログラム責任者、各協力型臨床研修病院・連携先臨床研修病院・協力施設の各研修実施責任者及び事務部の責任者、外部有識者等よりなる。

(2) プログラム責任者

総責任者：東京大学医学部附属病院長事務代理 久米 春喜

責任者：東京大学医学部附属病院総合研修センターセンター長 江頭 正人

各プログラム正責任者：

Aプログラム 江頭 正人

Bプログラム 江頭 正人

広域連携型プログラム 江頭 正人

小児科重点プログラム 加藤 元博

産婦人科重点プログラム 江頭 正人

(3) 指導医

指導医は臨床経験7年以上で、プライマリケアの指導を充分行える能力を有し、指導時間を十分に取れる者とし、指導医講習会を受講していること等の要件を満たした者である。

(4) 副プログラム責任者

本プログラムで研修中に様々な指導・助言を与える副プログラム責任者を研修医20人につき1名の割合で担当する。副プログラム責任者は面談等により定期的に研修医ごとの臨床研修の目標の達成状況等の把握を行い総合研修センターにその結果を報告する。

7. 参加施設（別掲）

基幹型臨床研修病院	東京大学医学部附属病院
協力型臨床研修病院	慶應義塾大学病院等
連携先臨床研修病院	筑波大学附属病院等
協力施設	診療所等

8. プログラムの管理運営

東京大学医学部附属病院長を責任者とし、研修に当たっては総合研修センター長並びに各プログラム責任者は協力型臨床研修病院、連携先臨床研修病院および協力施設の各研修担当責任者と緊密に連絡を取り、研修プログラムの問題点の検討、再評価と各研修医並びに研修指導医の研修並びに評価を行う。

9. 評価方法

各ローテーションにおける具体的な到達度の評価は、PG-EPOC（卒後臨床研修医用オンライン臨床教育評価システム）を用いる。また、指導医に加え、他の職種から医師患者関係やチーム医療の実践などについての形成的評価を行う。

10. 研修医の処遇

東京大学医学部附属病院の研修中は、東京大学医学部附属病院の規程による報酬が支払われる。協力型臨床研修病院および連携先臨床研修病院での研修中は、当該病院の規定による報酬が支払われる。社会保険等は厚生労働省の規定による。

東京大学医学部附属病院の研修中の処遇は次のとおりとする。

(1) 身分	非常勤職員
(2) 研修手当	1 年次：1,560 円/時 （1,560 円/時間×7.75 時間/日＝12,090 円/日）
	（基本手当/月 平均 253,890 円）
	2 年次：1,620 円/時 （1,620 円/時間×7.75 時間/日＝12,555 円/日）
	（基本手当/月 平均 263,655 円）
	賞与：有、時間外手当：有、住居手当：有
(3) 勤務時間	一週あたり 38 時間 45 分とし、勤務割振表による変形勤務
(4) 休暇	年次有給休暇：採用 1 年目 10 日、2 年目 11 日
	その他の休暇： 夏季指定休暇・リフレッシュ休暇・忌引・病気休暇等（有給）/ 産前産後休暇等（無給）
(5) 宿日直	有（診療科による）
(6) 研修医の宿舍	有（単身者用、約 70 戸、敷地内病院隣接）
(7) 研修医の共有部屋等	有（研修医室、談話室）（院内ロッカー室）

(8) 社会保険・労働保険	公的医療保険：全国健康保険協会管掌健康保険
	公的年金保険：厚生年金
	労働者災害補償保険法の適用：有
	国家・地方公務員災害補償法の適用：無
	雇用保険：有
(9) 健康管理	1 年目は採用時健康診断を受診 2 年目は職員健康診断を受診
(10) 医師賠償責任保険	病院が加入する保険が研修医も対象となる 個人加入は任意
(11) 外部の研修活動	学会、研究会等への参加：可
(12) 福利厚生	ベネフィットステーション（サービス利用可）
(13) 保育園の有無	有（但し応相談、敷地内病院隣接又は構内）
(14) その他	アルバイト・兼業は禁止する

ただし、Bプログラムおよび広域連携型プログラムにおいて、協力型臨床研修病院、連携先臨床研修病院で研修している期間は各病院の処遇に従う。

11. 研修医の募集と選抜

毎年募集要項を公表し、それに基づいて募集し選抜する。募集については、マッチングシステムに参加登録する者を対象とする。選抜は、書類審査、コンピューター試験、面接試験で行う。

12. 連絡先

〒113-8655

東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部附属病院 総合研修センター

電話：03-5800-8608、FAX：03-5800-8725

e-mail：soken@adm.h.u-tokyo.ac.jp

URL <http://www.h.u-tokyo.ac.jp/soken/top.html>